

令和5年度長崎県埋蔵文化財センター巡回遺跡展



日本遺産

きらきら
煌々しき

境界の島

— 外交と交易と祈りの青銅器 —

観覧・参加無料

令和6年

2月3日(土)~

2月25日(日)

対馬博物館 [特別展示室2]

[開館時間] 9:30 ~ 17:00

(最終入館 16:30、木曜休館)

講演会

令和6年2月25日(日)

13:00 ~ 16:00

対馬市交流センター [3階大会議室]

[講師] 武末純一 (福岡大学名誉教授)

[登壇者] 壱岐高校東アジア歴史・中国語コース

歴史学専攻生

長崎県埋蔵文化財センター職員



長崎県埋蔵文化財センター

煌々しき きらきら 境界の島

- 外交と交易と祈りの青銅器 -

令和6年

2月3日(土)~2月25日(日)

対馬博物館 [特別展示室2]

[開館時間] 9:30 ~ 17:00

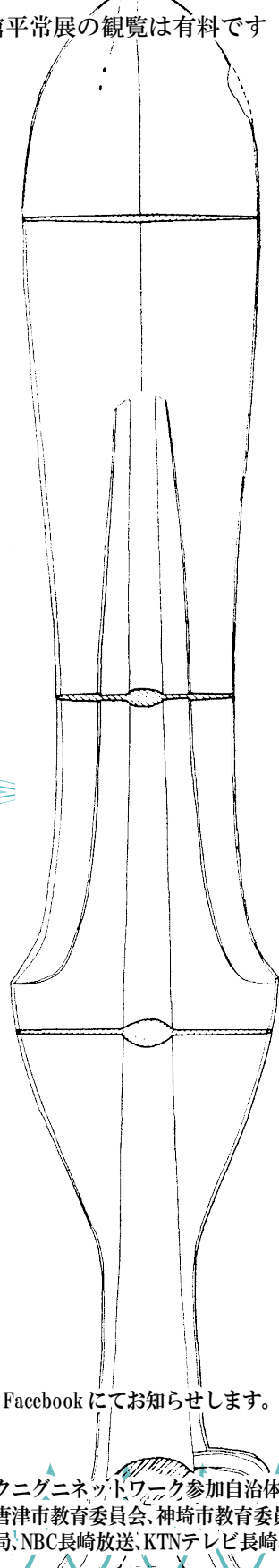
(最終入館 16:30、木曜休館)

※博物館平常展の観覧は有料です

魏志倭人伝には朝鮮半島から初めて海を渡って到着するクニとして対馬國が登場します。そこには玄界灘に浮かび、指呼の間に朝鮮半島南部を望む対馬が朝鮮半島や日本列島と「南北市羅」(交易)していたことが記されており、実際に遺跡からは日本列島の遺物だけでなく朝鮮半島や中国大陸から持ち込まれた遺物が多数出土します。

今回の巡回遺跡展では、日韓の間に位置する境界の島である対馬が日本本土や朝鮮半島、中国大陸とどのように交流してきたのかを、魏志倭人伝に登場する対馬國に焦点を当て、青銅器を中心とした出土遺物や最新の調査成果とともに紹介します。

また、巡回遺跡展最終日に開催する講演会では、弥生時代の日韓交渉研究の第一人者である福岡大学名誉教授の武末純一先生をお招きし、弥生時代の対馬の対外交流についてご講演いただきます。さらに、長崎県埋蔵文化財センターが支援を行っている壱岐高校東アジア歴史・中国語コースの生徒による研究発表も行います。



講演会

令和6年2月25日(日) 13:00~16:00

対馬市交流センター [3階大会議室]

[講師] 武末純一 (福岡大学名誉教授)

[登壇者] 壱岐高校東アジア歴史・中国語コース歴史学専攻生
長崎県埋蔵文化財センター職員

お問い合わせ先

長崎県埋蔵文化財センター

〒811-5322 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1

[TEL] 0920-45-4080 [FAX] 0920-45-4082

[Eメール] s40410@pref.nagasaki.lg.jp

[URL] <http://www.nagasaki-maibun.jp/index.html>



悪天候等により、内容を変更する場合があります。変更となる場合は、長崎県埋蔵文化財センターホームページ・Facebookにてお知らせします。

【共催】対馬市教育委員会、対馬市 【協力】対馬博物館

【後援】釜山博物館、壱岐市教育委員会、大村市教育委員会、平戸市、松浦市教育委員会、東彼杵町教育委員会、魏志倭人伝のクニネットワーク参加自治体・教育委員会(福岡県教育委員会、佐賀県、朝倉市教育委員会、飯塚市教育委員会、糸島市教育委員会、宇美町、春日市、唐津市教育委員会、神崎市教育委員会、吉野ヶ里町教育委員会)、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、対馬新聞社、株式会社コミュニティメディア(対馬市 CATV)